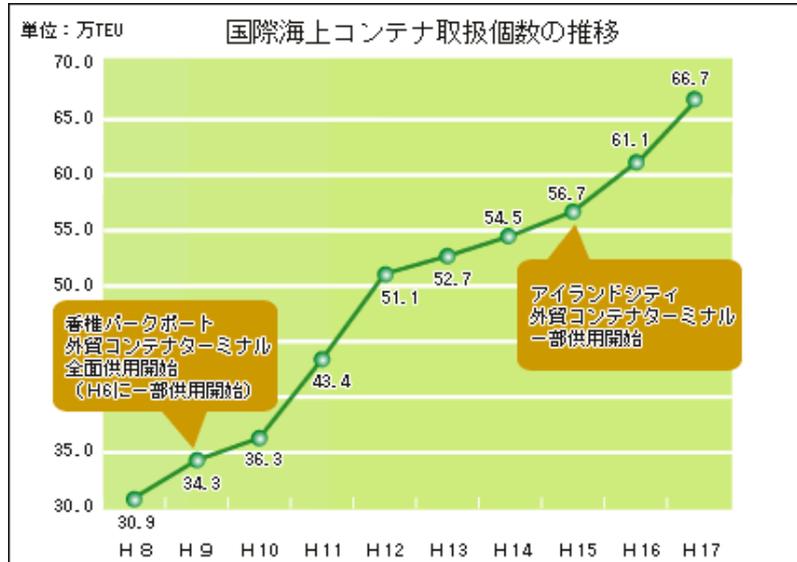


平成 17 年における港勢データ

○平成 17 年国際海上コンテナ取扱個数 66 万 6,848TEU(前年比 9.1%増), 過去最高を更新

輸出は、古紙等の「再利用資材」(対前年比 156.4%)等の増加により、約 3.0 万 TEU 増加した。

輸入は、「日用品」(同 110.9%)や「電気機械」(同 124.9%)等の増加により、約 2.0 万 TEU 増加した。

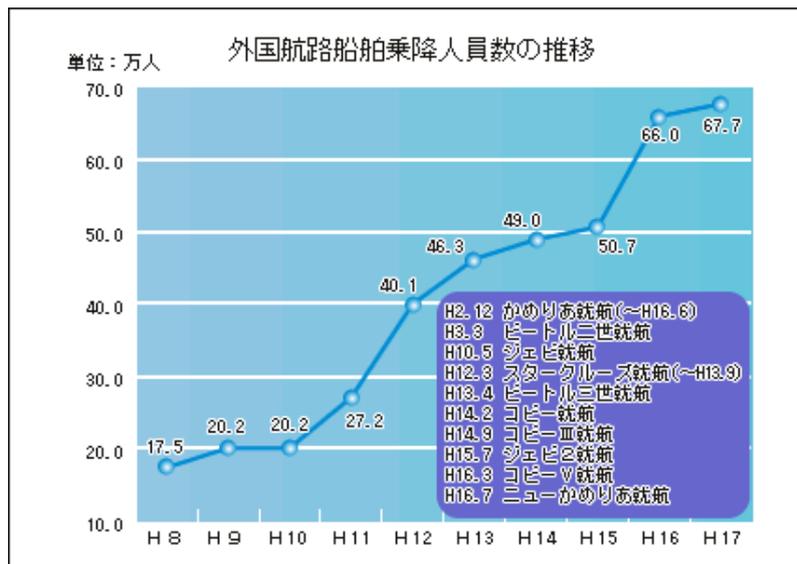


※ TEU(Twenty-foot Equivalent Unit) : コンテナ個数を数えるときの単位で、20 フィート換算個数のこと。
20 フィートコンテナ 1 個が 1TEU。
40 フィートコンテナ 1 個が 2TEU。

○平成 17 年外国航路船舶乗降人員 67 万 7,385 人(前年比 2.6%増), 過去最高を更新

博多港の外国航路乗降人員は、平成5年以降全国第1位を記録し続けており、平成 17 年は観光旅行等で日本を訪れる韓国人旅行者が全体の半数を超え、総数 67 万 7,385 人と過去最高を更新した。

(参考:平成 16 年実績では空港の国際線旅客者数と比較しても全国第6位)



1. 入港船舶

入港船舶数は 39,225 隻(前年比 95.2%)、総トン数は 5,431 万総トン(同 97.6%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数 6,213 隻(同 101.3%)・総トン数 3,082 万総トン(同 105.2%)、内航は隻数 33,012 隻(同 94.1%)・総トン数 2,349 万総トン(同 89.1%)であった。〈図-1、表-1 参照〉

図-1 入港船舶の推移

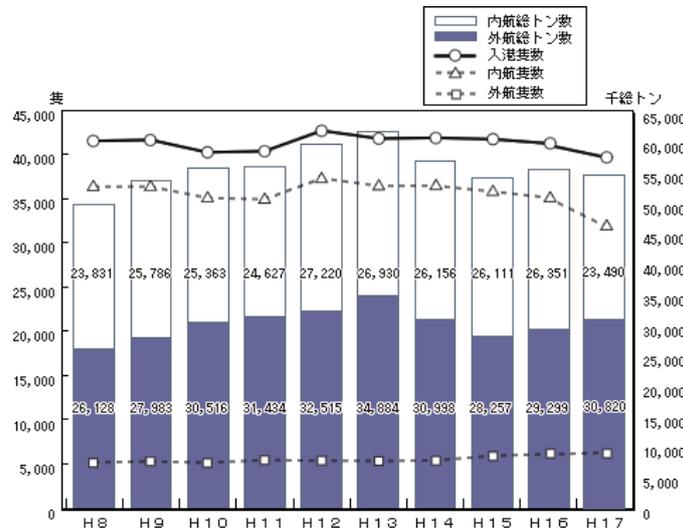


表-1 入港船舶の推移

(単位: 隻、総トン)

区分		平成 17 年		16 年		15 年		14 年		13 年
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外航	隻数	6,213	101.3%	6,135	103.6%	5,923	109.4%	5,412	101.3%	5,345
	総トン数	30,819,719	105.2%	29,298,553	103.7%	28,256,948	91.2%	30,997,602	88.9%	34,883,779
内航	隻数	33,012	94.1%	35,073	98.0%	35,785	98.2%	36,439	100.0%	36,430
	総トン数	23,489,554	89.1%	26,350,503	100.9%	26,110,952	99.8%	26,156,498	97.1%	26,929,899
総数	隻数	39,225	95.2%	41,208	98.8%	41,708	99.7%	41,851	100.2%	41,775
	総トン数	54,309,273	97.6%	55,649,056	102.4%	54,367,900	95.1%	57,154,100	92.5%	61,813,678

2. 海上出入貨物量

海上出入貨物量は、外国貿易 1,317 万トン(前年比 101.9%)、国内貿易 1,825 万トン(同 77.6%)であり、総貨物量は 3,142 万トン(同 86.2%)であった。国内貿易が減少したのは、完成自動車等の自動車関連貨物が他港へ移管されたことが主な要因であった。なお、出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 29.6%・929 万トン、輸移入は 70.4%・2,213 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。〈図-2、表-2 参照〉

図-2 海上出入貨物量の推移

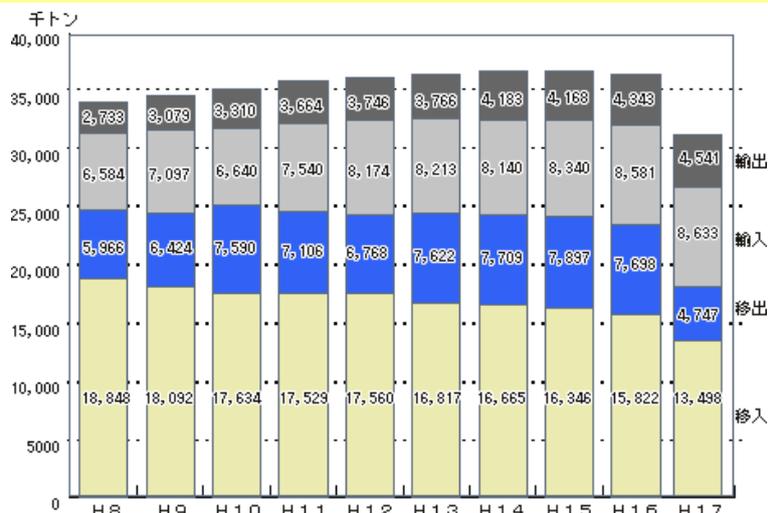


表-2 海上出入貨物量の推移

(単位:トン)

区分		平成 17 年		16 年		15 年		14 年		13 年
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外国貿易	輸出	4,540,980	104.5%	4,343,410	104.2%	4,167,881	99.6%	4,182,807	111.1%	3,766,073
	輸入	8,632,775	100.6%	8,580,944	102.9%	8,340,160	102.5%	8,139,710	99.1%	8,212,898
	計	13,173,755	101.9%	12,924,354	103.3%	12,508,041	101.5%	12,322,517	102.9%	11,978,971
内国貿易	移出	4,747,238	61.7%	7,698,220	97.5%	7,897,381	102.4%	7,709,024	101.1%	7,622,254
	移入	13,498,353	85.3%	15,821,501	96.8%	16,345,751	98.1%	16,664,708	99.1%	16,817,122
	計	18,245,591	77.6%	23,519,721	97.0%	24,243,132	99.5%	24,373,732	99.7%	24,439,376
総数	輸移出	9,288,218	77.1%	12,041,630	99.8%	12,065,262	101.5%	11,891,831	104.4%	11,388,327
	輸移入	22,131,128	90.7%	24,402,445	98.9%	24,685,911	99.5%	24,804,418	99.1%	25,030,020
	計	31,419,346	86.2%	36,444,075	99.2%	36,751,173	100.1%	36,696,249	100.8%	36,418,347

※フェリー(自動車航送船)による航送車輛トン数は含まない

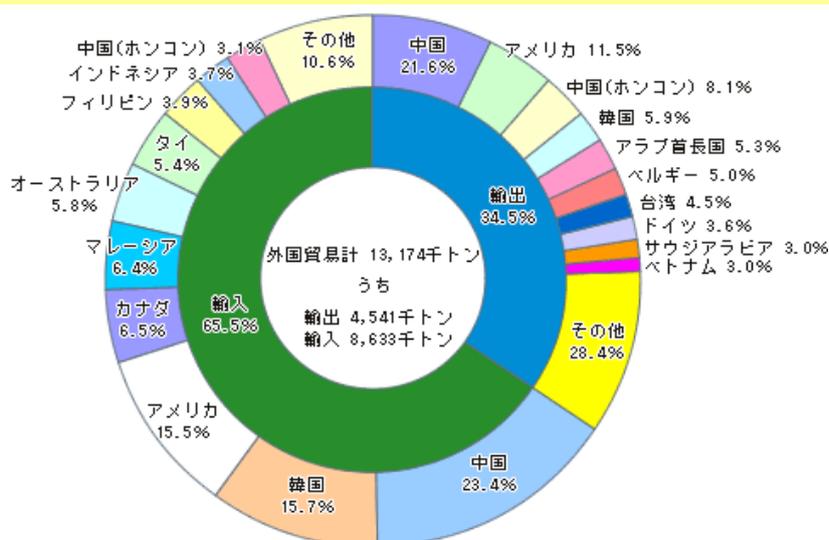
表-3 フェリー(自動車航送船)による航送車輛トン数の推移

(単位:トン)

区分	平成 17 年		16 年		15 年		14 年		13 年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
移出	2,533,120	97.7%	2,593,835	99.8%	2,598,900	111.2%	2,337,365	95.5%	2,447,735
移入	2,566,880	94.7%	2,711,345	98.3%	2,757,090	107.3%	2,570,230	97.3%	2,640,395
計	5,100,000	96.1%	5,305,180	99.1%	5,355,990	109.1%	4,907,595	96.5%	5,088,130

2-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2-1-1. 輸出

(1)貨物量

輸出貨物量は4,541千トン(前年比104.5%)であり、外国貿易の34.5%を占めている。〈図-3、表-2参照〉

(2)品種別

輸出貨物量4,541千トンのうち「ゴム製品」が1,836千トン(40.4%)、「再利用資材」が595千トン(13.1%)、「産業機械」が434千トン(9.6%)であった。〈図-4・5、表-4参照〉

図-4 輸出(4,541千トン)

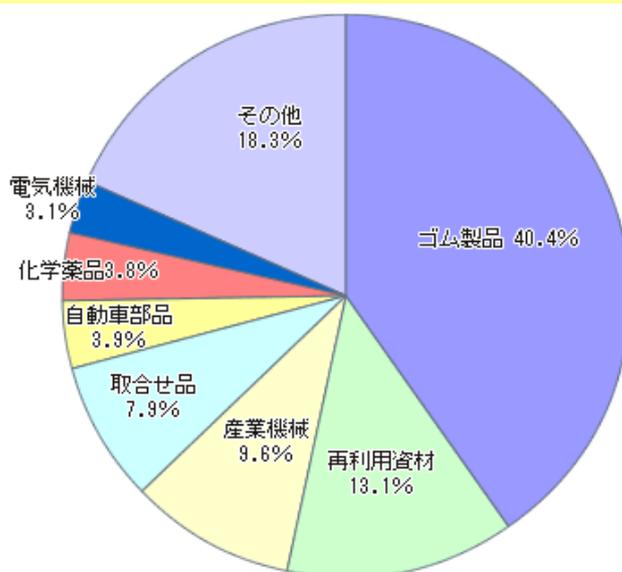
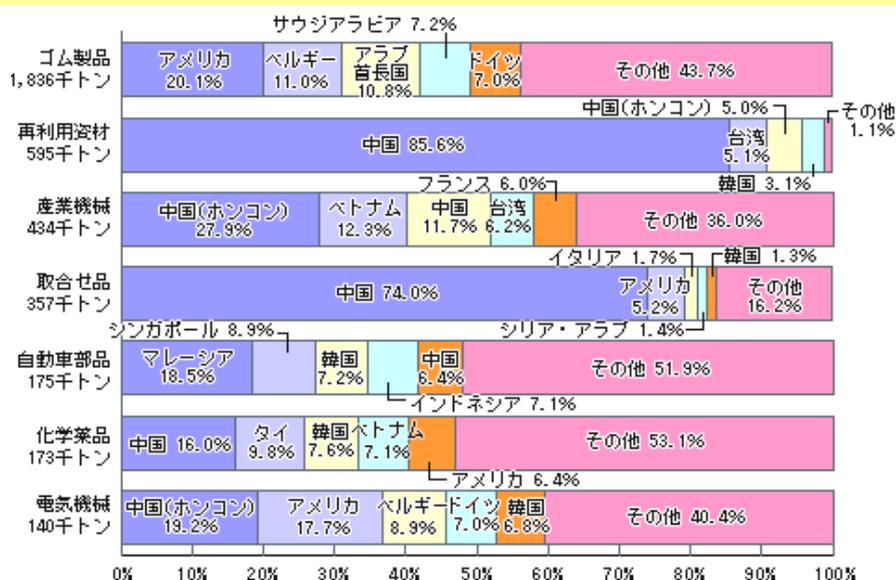


表-4 輸出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	平成17年	構成比	16年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	1,835,954	40.4%	1,913,126	44.0%	▲ 77,172	96.0%
2	再利用資材	594,923	13.1%	425,126	9.8%	169,797	139.9%
3	産業機械	433,819	9.6%	406,612	9.4%	27,207	106.7%
4	取合せ品	357,162	7.9%	202,935	4.7%	154,227	176.0%
5	自動車部品	175,338	3.9%	183,752	4.2%	▲ 8,414	95.4%
6	化学薬品	173,154	3.8%	208,958	4.8%	▲ 35,804	82.9%
7	電気機械	140,449	3.1%	153,966	3.5%	▲ 13,517	91.2%
	上記以外その他	830,181	18.3%	848,935	19.5%	▲ 18,754	97.8%
	合計	4,540,980	100.0%	4,343,410	100.0%	197,570	104.5%

図-5 輸出上位7品種の相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が 981 千トン(21.6%)、アメリカが 521 千トン(11.5%)、中国(ホンコン)が 369 千トン(8.1%)、以下韓国、アラブ首長国と続いている。〈図-3、表-5 参照〉

表-5 輸出 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最終船卸国・地域名	平成 17 年	構成比	16 年	構成比	増減	前年比
1	中国	980,598	21.6%	610,168	14.0%	370,430	160.7%
2	アメリカ	520,907	11.5%	449,210	10.3%	71,697	116.0%
3	中国(ホンコン)	368,987	8.1%	381,591	8.8%	▲ 12,604	96.7%
4	韓国	268,223	5.9%	443,538	10.2%	▲ 175,315	60.5%
5	アラブ首長国	242,916	5.3%	209,467	4.8%	33,449	116.0%
6	ベルギー	229,228	5.0%	116,514	2.7%	112,714	196.7%
7	台湾	205,700	4.5%	267,165	6.2%	▲ 61,465	77.0%
8	ドイツ	163,107	3.6%	154,771	3.6%	8,336	105.4%
9	サウジアラビア	137,769	3.0%	125,683	2.9%	12,086	109.6%
10	ベトナム	134,103	3.0%	129,624	3.0%	4,479	103.5%
	上記以外その他	1,289,442	28.4%	1,455,679	33.5%	▲ 166,237	88.6%
	合計	4,540,980	100.0%	4,343,410	100.0%	197,570	104.5%

2-1-2. 輸入

(1)貨物量

輸入貨物量は 8,633 千トン(前年比 100.6%)であり、外国貿易の 65.5%を占めている。〈図-3、表-2参照〉

(2)品種別

輸入貨物量 8,633 千トンのうち「麦」が 804 千トン(9.3%)、「動植物性製造飼肥料」が 796 千トン(9.2%)、「家具装備品」が 660 千トン(7.6%)であった。〈図-6・7、表-6 参照〉

図-6 輸入(8,633千トン)

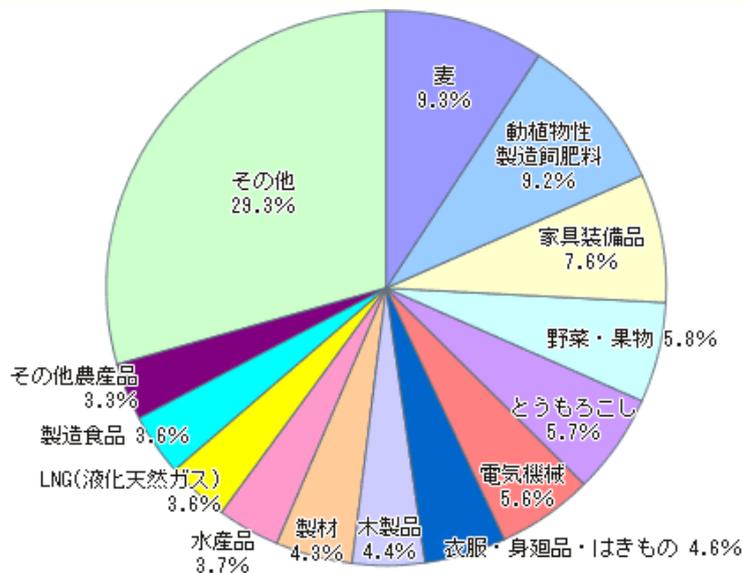
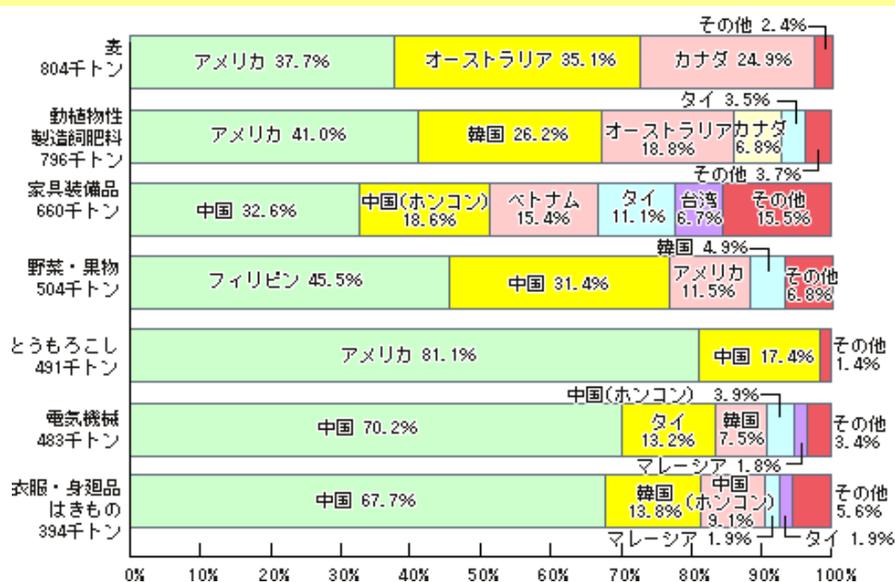


表-6 輸入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	平成 17 年	構成比	16 年	構成比	増減	前年比
1	麦	803,919	9.3%	789,410	9.2%	▲ 14,509	101.8%
2	動植物性製造飼肥料	796,382	9.2%	813,121	9.5%	▲ 16,739	97.9%
3	家具装備品	660,064	7.6%	686,762	8.0%	▲ 26,698	96.1%
4	野菜・果物	504,203	5.8%	419,451	4.9%	▲ 84,752	120.2%
5	とうもろこし	490,571	5.7%	510,213	5.9%	▲ 19,642	96.2%
6	電気機械	483,469	5.6%	356,876	4.2%	▲ 126,593	135.5%
7	衣服・身廻品・はきもの	393,928	4.6%	401,366	4.7%	▲ 7,438	98.1%
	上記以外その他	4,500,239	52.1%	4,603,745	53.7%	▲ 103,506	97.8%
	合計	8,632,775	100.0%	8,580,944	100.0%	▲ 51,831	100.6%

図-7 輸入上位7品種の相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が 2,023 千トン(23.4%)、韓国が 1,357 千トン(15.7%)、アメリカが 1,334 千トン(15.5%) 以下カナダ、マレーシアと続いている。(図-3、表-7参照)

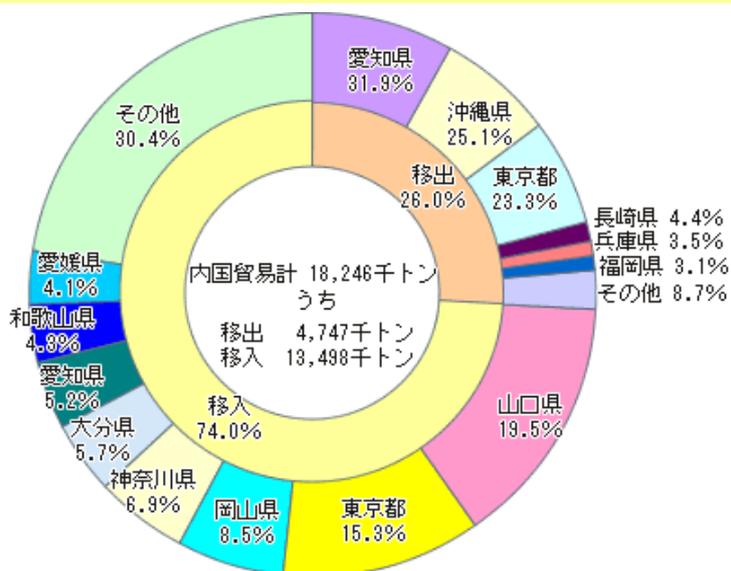
表－7 輸入 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最初船積国・地域名	平成 17 年	構成比	16 年	構成比	増減	前年比
1	中国	2,023,153	23.4%	1,732,939	20.2%	290,214	116.7%
2	韓国	1,356,928	15.7%	1,233,316	14.4%	123,612	110.0%
3	アメリカ	1,333,832	15.5%	1,455,622	17.0%	▲ 121,790	91.6%
4	カナダ	557,335	6.5%	470,311	5.5%	87,024	118.5%
5	マレーシア	550,678	6.4%	577,655	6.7%	▲ 26,977	95.3%
6	オーストラリア	499,819	5.8%	588,299	6.9%	▲ 88,480	85.0%
7	タイ	469,843	5.4%	501,700	5.8%	▲ 31,857	93.7%
8	フィリピン	340,988	3.9%	311,870	3.6%	29,118	109.3%
9	インドネシア	317,678	3.7%	316,400	3.7%	1,278	100.4%
10	中国(ホンコン)	270,132	3.1%	264,991	3.1%	5,141	101.9%
	上記以外その他	912,389	10.6%	1,127,841	13.1%	▲ 215,452	80.9%
	合計	8,632,775	100.0%	8,580,944	100.0%	51,831	100.6%

2-2. 内国貿易

図－8 内国貿易(移出・移入相手都道府県別)



※図－8・10・12 及び表－9・11 については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。

2-2-1. 移出

(1)貨物量

移出貨物量は4,747千トン(前年比 61.7%)であり、内国貿易の26.0%を占めている。<表－2, 図－8参照>

(2)品種別

移出貨物量 4,747千トンのうち「その他輸送機械」が1,693千トン(35.7%)、「取合せ品」が820千トン(17.3%)、「完成自動車」が682千トン(14.4%)であった。<図－9・10、表－8 参照>

図-9 移出(4,747千トン)

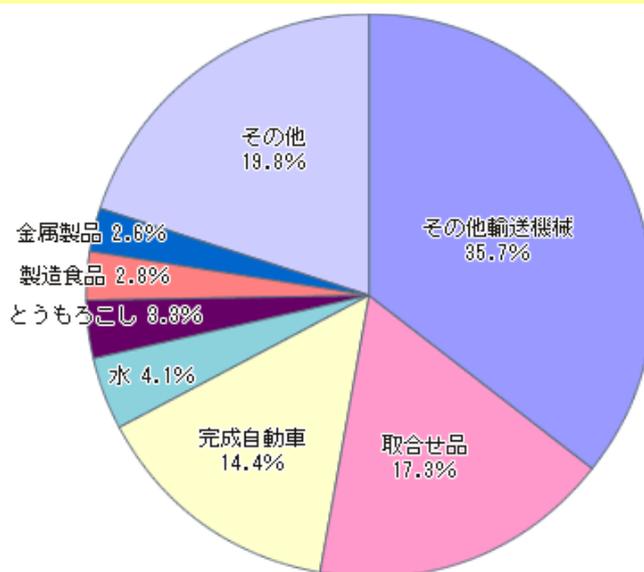
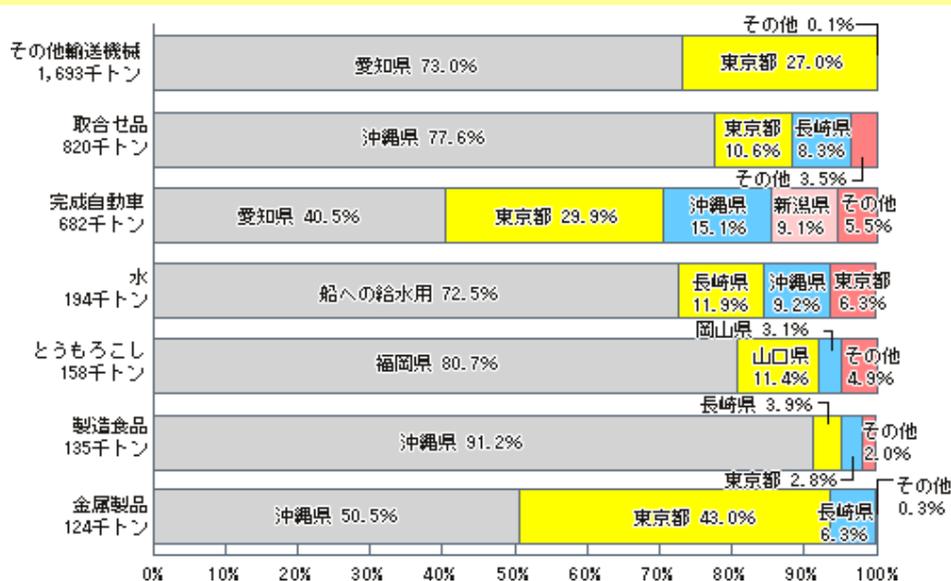


表-8 移出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品名	平成17年	構成比	16年	構成比	増減	前年比
1	その他輸送機械	1,692,858	35.7%	2,358,773	30.6%	▲ 665,915	71.8%
2	取合せ品	819,834	17.3%	840,907	10.9%	▲ 21,073	97.5%
3	完成自動車	681,583	14.4%	2,800,087	36.4%	▲ 2,118,504	24.3%
4	水	194,480	4.1%	210,208	2.7%	▲ 15,728	92.5%
5	とうもろこし	157,731	3.3%	205,431	2.7%	▲ 47,700	76.8%
6	製造食品	135,126	2.8%	125,541	1.6%	▲ 9,585	107.6%
7	金属製品	123,565	2.6%	118,965	1.5%	▲ 4,600	103.9%
	上記以外その他	942,061	19.8%	1,038,308	13.5%	▲ 96,247	90.7%
	合計	4,747,238	100.0%	7,698,220	100.0%	▲ 2,950,982	61.7%

図-10 移出上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、愛知県が 1,512 千トン(31.9%)、沖縄県が 1,192 千トン(25.1%)、東京都が 1,105 千トン(23.3%)以下長崎県、兵庫県と続いている。<図-8、表-9 参照>

表-9 移出 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	仕向都道府県名	平成 17 年	構成比	16 年	構成比	増減	前年比
1	愛知県	1,512,310	31.9%	4,293,418	55.8%	▲ 2,781,108	35.2%
2	沖縄県	1,192,034	25.1%	1,181,250	15.3%	▲ 10,784	100.9%
3	東京都	1,104,909	23.3%	1,129,635	14.7%	▲ 24,726	97.8%
4	長崎県	210,060	4.4%	227,836	3.0%	▲ 17,776	92.2%
5	兵庫県	163,991	3.5%	188,373	2.4%	▲ 24,382	87.1%
6	福岡県	148,665	3.1%	149,920	1.9%	▲ 1,255	99.2%
7	大阪府	74,108	1.6%	67,719	0.9%	▲ 6,389	109.4%
	上記以外その他	341,161	7.2%	460,069	6.0%	▲ 118,908	74.2%
	合計	4,747,238	100.0%	7,698,220	100.0%	▲ 2,950,982	61.7%

2-2-2. 移入

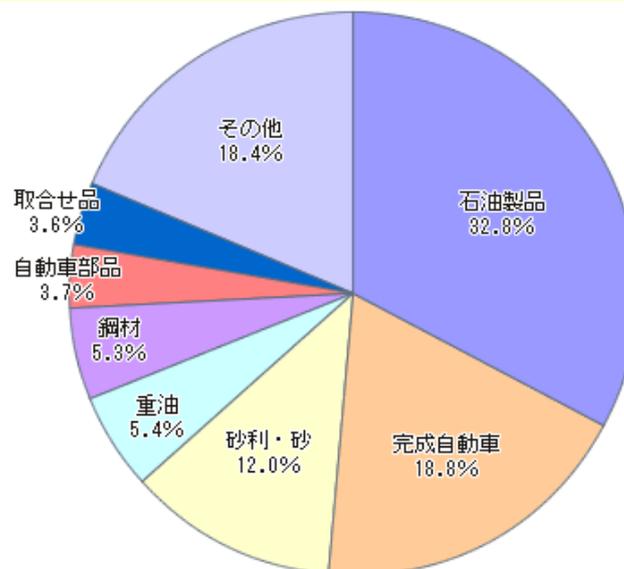
(1)貨物量

移入貨物量は 13,498 千トン(前年比 85.3%)であり、内国貿易の 74.0%を占めている。<表-2、図-8参照>

(2)品種別

移入貨物量 13,498 千トンのうち「石油製品」が 4,433 千トン(32.8%)、「完成自動車」が 2,540 千トン(18.8%)、「砂利・砂」が 1,615 千トン(12.0%)であった。<図-11・12、表-10 参照>

図-11 移入(13,498千トン)

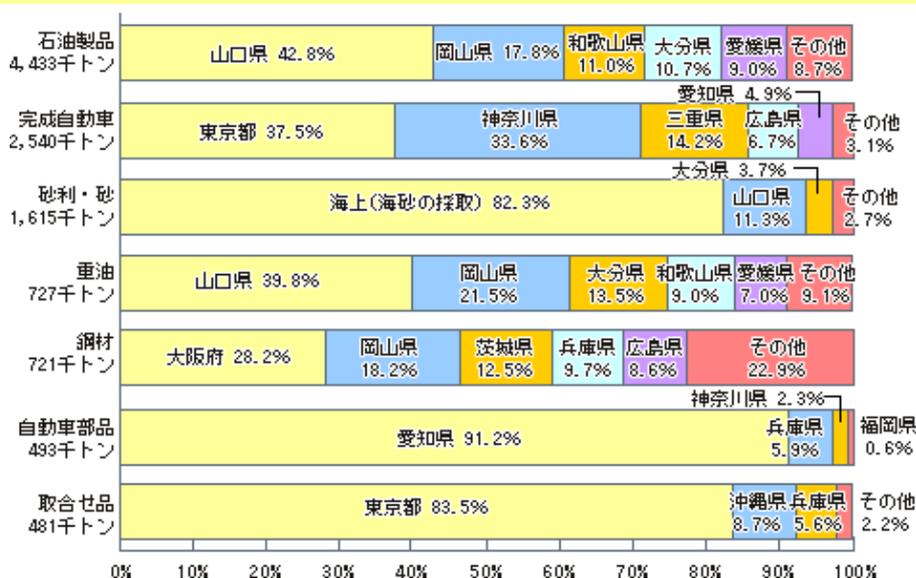


表－10 移入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	平成 17 年	構成比	16 年	構成比	増減	前年比
1	石油製品	4,432,701	32.8%	4,251,232	26.9%	181,469	104.3%
2	完成自動車	2,540,385	18.8%	4,312,070	27.3%	▲ 1,771,685	58.9%
3	砂利・砂	1,615,024	12.0%	1,683,479	10.6%	▲ 68,455	95.9%
4	重油	727,406	5.4%	781,035	4.9%	▲ 53,629	93.1%
5	鋼材	720,638	5.3%	779,350	4.9%	▲ 58,712	92.5%
6	自動車部品	493,369	3.7%	741,342	4.7%	▲ 247,973	66.6%
7	取合せ品	480,940	3.6%	481,821	3.0%	▲ 881	99.8%
	上記以外その他	2,487,890	18.4%	2,791,172	17.6%	▲ 303,282	89.1%
	合計	13,498,353	100.0%	15,821,501	100.0%	▲ 2,323,148	85.3%

図－12 移入上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、山口県が2,630千トン(19.5%)、東京都が2,069千トン(15.3%)、岡山県が1,146千トン(8.5%)以下神奈川県、大分県と続いている。(図－8、表－11 参照)

表－11 移入 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	仕出都道府県名	平成 17 年	構成比	16 年	構成比	増減	前年比
1	山口県	2,630,434	19.5%	2,067,016	13.1%	563,418	127.3%
2	東京都	2,068,929	15.3%	2,054,604	13.0%	14,325	100.7%
3	岡山県	1,145,960	8.5%	1,384,189	8.7%	▲ 238,229	82.8%
4	神奈川県	933,416	6.9%	789,624	5.0%	143,792	118.2%
5	大分県	774,608	5.7%	843,306	5.3%	▲ 68,698	91.9%
6	愛知県	705,602	5.2%	3,082,335	19.5%	▲ 2,376,733	22.9%
7	和歌山県	582,394	4.3%	583,082	3.7%	▲ 688	99.9%
	上記以外その他	4,657,010	34.5%	5,017,345	31.7%	▲ 360,335	92.8%
	合計	13,498,353	100.0%	15,821,501	100.0%	▲ 2,323,148	85.3%

3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、666,848TEU(前年比 109.1%)であった。なお、ダイレクトコンテナは 621,068TEU(同 108.8%)、フィーダーコンテナは 45,780TEU(同 113.6%)であった。<図-13、表-12 参照>

図-13 国際海上コンテナ取扱個数の推移

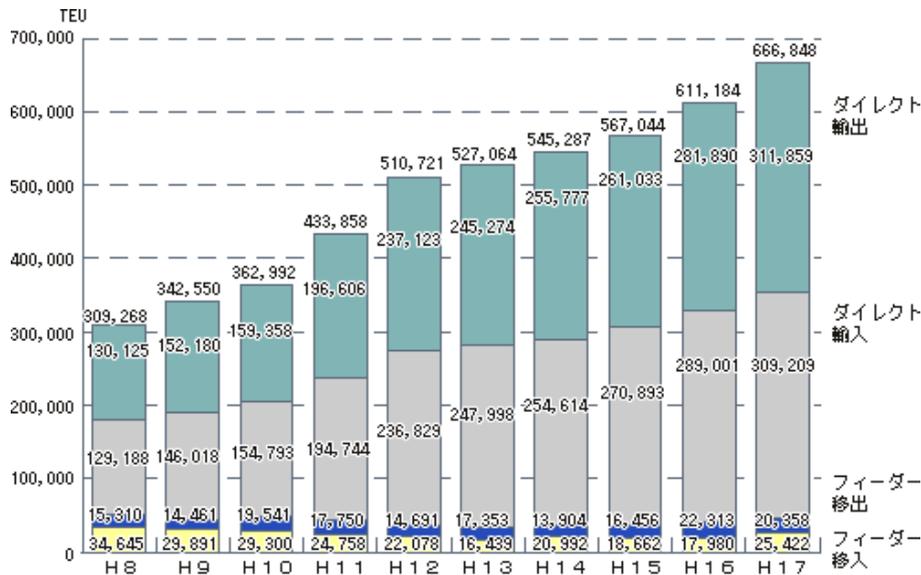


表-12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分	平成 17 年		16 年		15 年		14 年		13 年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	311,859	110.6%	281,890	108.0%	261,033	102.1%	255,777	104.3%	245,274
	輸入	309,209	107.0%	289,001	106.7%	270,893	106.4%	254,614	102.7%	247,998
	計	621,068	108.8%	570,891	107.3%	531,926	104.2%	510,391	103.5%	493,272
内国貿易 (フィーダー)	移出	20,358	91.2%	22,313	135.6%	16,456	118.4%	13,904	80.1%	17,353
	移入	25,422	141.4%	17,980	96.3%	18,662	88.9%	20,992	127.7%	16,439
	計	45,780	113.6%	40,293	114.7%	35,118	100.6%	34,896	103.3%	33,792
総数	輸移出	332,217	109.2%	304,203	109.6%	277,489	102.9%	269,681	102.7%	262,627
	輸移入	334,631	109.0%	306,981	106.0%	289,555	105.1%	275,606	104.2%	264,437
	計	666,848	109.1%	611,184	107.8%	567,044	104.0%	545,287	103.5%	527,064

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

4. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が67.7万人(前年比 102.6%)、内国航路は128.0万人(同 93.9%)となり、外内航あわせて195.8万人(同 96.8%)であった。<図-14、表-13 参照>

図-14 船舶乗降人員の推移

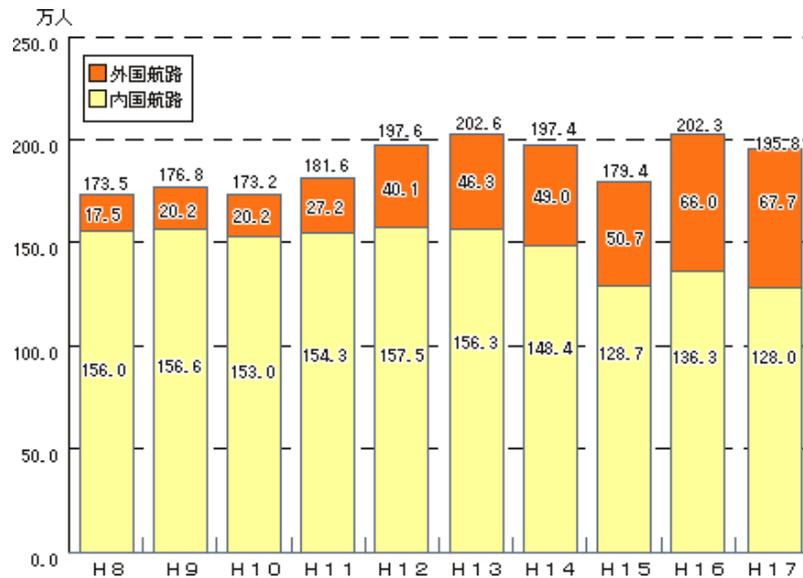


表-13 船舶乗降人員の推移

(単位:人)

区分	平成17年		16年		15年		14年		13年	
	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	
外国航路	乗込人員	338,122	102.0%	331,465	129.7%	255,561	103.6%	246,684	106.3%	231,989
	上陸人員	339,263	103.3%	328,576	130.8%	251,178	103.4%	242,999	105.2%	230,993
	計	677,385	102.6%	660,041	130.3%	506,739	103.5%	489,683	105.8%	462,982
内国航路	乗込人員	658,509	94.1%	699,902	105.8%	661,309	87.0%	759,730	94.8%	801,016
	上陸人員	621,935	93.8%	663,177	105.9%	626,145	86.4%	724,381	95.1%	762,049
	計	1,280,444	93.9%	1,363,079	105.9%	1,287,454	86.7%	1,484,111	94.9%	1,563,065
総計	乗込人員	996,631	96.6%	1,031,367	112.5%	916,870	91.1%	1,006,414	97.4%	1,033,005
	上陸人員	961,198	96.9%	991,753	113.0%	877,323	90.7%	967,380	97.4%	993,042
	計	1,957,829	96.8%	2,023,120	112.8%	1,794,193	90.9%	1,973,794	97.4%	2,026,047